



Title	阪大法学 57巻 総目次
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2008, 57(6)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/54804
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

阪大法学 第五七卷 総目次 (一～六号)

論 説

刑事訴訟法三二六条の「同意」について(上)……………	松田 岳士	一	一	一
多数国間環境保護条約の実効性……………				
——「政策過程としての法」試論——……………	遠井 朗子	一	一七	一七
共同正犯の構造……………	梅宮 弘典	一	四七	四七
取締役の利益相反取引とその承認(一)……………				
——アメリカ法における利害関係なき取締役による承認——……………	松中 学	一	七五	七五
労働法の規制緩和における労働者派遣法制の課題(一)……………				
——台湾における法整備と日本法からの示唆——……………	廖 修雅	一	一〇三	一〇三
ドイツにおける環境・法的救済法の成立(一)……………				
——団体訴訟の法的性質をめぐる一考察——……………	大久保 規子	二	一	二〇三
刑事訴訟法三二六条の「同意」について(下)……………	松田 岳士	二	一五	二一七

取締役の利益相反取引とその承認（二・完）

——アメリカ法における利害関係なき取締役による承認——……………松中学 二 三五 二三七

労働法の規制緩和における労働者派遣法制の課題（二・完）

——台湾における法整備と日本法からの示唆——……………廖修雅 二 五七 二五九

列挙されていない権利の構図

——アメリカ合衆国憲法修正九条における権限アプローチの展開——……………中曾久雄 二 七三 二七五

著作権政策形成過程の分析（二）

——利益団体、審議会、官庁の行動による法改正メカニズムの説明——……………京俊介 二 一〇三 三〇五

官僚制のゲーム理論分析…

『ゲームとしての官僚制』の補論として（二）……………曾我謙悟 三 一 三九三

不良債権処理加速策の政策評価

——有効性の観点と経済性・効率性の観点から——……………上川龍之進 三 一三三 四一五

著作権政策形成過程の分析（二・完）

——利益団体、審議会、官庁の行動による法改正メカニズムの説明——……………京俊介 三 五三 四四五

二〇〇七年NPT準備委員会

—— 全体的議論と核軍縮——	黒澤 満	四	一	五一七
----------------	------	---	---	-----

求償利得における、他人の事務処理活動に対する

コントロール原理としての事務管理法理の位置づけ				
-------------------------	--	--	--	--

—— 三種の法定債権相互の關係についての一視点——	平田健治	四	四九	五六五
---------------------------	------	---	----	-----

民政党内閣と大阪財界（一）

—— 井上準之助蔵相と經濟的自由主義——	滝口 剛	四	七五	五九一
----------------------	------	---	----	-----

公人と名誉毀損（一）

—— 「現実的惡意の法理」導入の可能性——	山田隆司	四	九七	六一三
-----------------------	------	---	----	-----

会社法における財源規制違反の剰余金の配当等の効力	吉本健一	五	一	六五五
--------------------------	------	---	---	-----

「おとり捜査」について（一）	松田岳士	五	一九	六七三
----------------	------	---	----	-----

小泉政権下における金融行政の政治学（一）	上川龍之進	五	四三	六九七
----------------------	-------	---	----	-----

公人と名誉毀損（二・完）

—— 「現実的惡意の法理」導入の可能性——	山田隆司	五	八一	七三五
-----------------------	------	---	----	-----

共有著作權行使に関する考察

—— アメリカ法から得られる權利行使円滑化の手掛り——	村上画里	五	一一一	七六五
-----------------------------	------	---	-----	-----

わが国における外国人犯罪の現状と対策

—— 犯罪ネットワークと外国人コミュニティの關係について——	佐久間 修	六	一	八七七
--------------------------------	-------	---	---	-----

安楽死・尊厳死をめぐる日仏の法的対応について(一)……………	島岡まな	六	二五	九〇一
「ネットワーク中立性」の研究……………	武田邦宣 尾形将行	六	五五	九三一
小泉政権下における金融行政の政治学(二)……………	上川龍之進	六	九九	九七五
主要目的ルールの検討(一)……………				
——主要目的ルールとは何か、そしてなぜ裁判所はそれを採用したのか——				
……………	松中 学	六	一三五	一〇一一
日米英の統治機構比較の枠組み……………				
——憲法・制度・アイデアからの試論——……………	岩波 薫	六	一八九	一〇六五
トマス・アクィナスの完成論……………				
——ジョン・フィニス自然法論の公法理論へのインパクト——……………	福島涼史	六	二二九	一〇九五
研究ノート……………				
地方自治体の文化振興法制……………	青田テル子	四	一一七	六三三
翻訳……………				
イタリアにおける弁護士職への道……………	ステファノ・ペローモ 林 智良／訳	一	一二三	一二三

韓国国民の司法不信とその解消策の模索……………	金 鄭 吉 龍	一	一三三	一三三
新時代の検事の役割……………	金 梁 宗 模	一	一四七	一四七
韓国企業法務の新領域……………	金 權 錘 杰	一	一六七	一六七
ドイツおよびヨーロッパ環境法における予防原則の展開……………	福井 康太／監修	二	一二七	三二九
メルボルン大学法学部卒業生の職業選択と法曹資格取得に関する規則……………	モニカ・ベーム 大久保 規子／訳			
—— 転職および職業選択における決定要因 ——……………	ステーション・スタイル 福井 康太／監訳	三	八一	四七三